

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-19 名越クリーンセンター処理事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1171	名越クリーンセンター処理事業	
主管課	名越クリーンセンター		関連課	環境部各課			
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集されたごみを適正に処理する。 (100%)						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
	収集対象人口	103,495人	103,635人				
運営資源 状況	決算値	269,488千円	314,670千円				
	(国・県)			指標と評価			
	(負担金等)	58,716千円	55,807千円	指標	1時間当たりの焼却量		
	(一般財源)	210,772千円	258,863千円	評価	○		
	人員配置数	9.1人	9.1人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	84,040千円	84,909千円	目標値	実績値		
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	353,528千円	399,579千円	20年度	2,500kg/h	2,452kg/h	
	市民1人当 りの経費	2,001円	2,264円	21年度	2,500kg/h	2,439kg/h	
	対象者1人 当りの経費	3,416円	3,856円	22年度	2,500kg/h		
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	2,500kg/h		
				最終年度 (25年度)	2,500kg/h		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)					
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)					
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)					
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	建設後28年を経過し、施設全体の老朽化は、著しい。上記の取組を含め、今後の延命化計画を円滑に進めていくうえで、その準備体制は万全を期したい。		評価結果	改善の必要性	ごみ焼却施設の延命化計画を進めながら、より一層の施設の適切な維持管理に努めていく。	
B	無			B	無		
課長名		宮村 伸一		部名・部長名		環境部 相澤 千香子	